

アマダイ通信NO. 148

(Tile fish network letter)

2023年 突然戦禍広がる

知人・友人各位

「帝国」の夢諦めきれぬプーチンがウクライナに非道の侵略、神代の昔の非道からの回復と称しイスラエルはアラブの地を侵略し続け、非道の支配に抗しイスラムのハマスが反抗の大きな狼煙を上げる。イスラエルは「天井のない監獄」へホロコーストそのものの報復。二足歩行に進化、手を自在に使い道具を発明、火を使えるようになった人類は、パンツを履き服を着て寒さを凌ぎ、地球の覇者となる。保存可能な穀物を栽培、富の蓄積が可能となり人口が増え、支配と被支配の関係が発生、抗争が絶えず現在に至る。人類発展の歴史は抗争の歴史でもあった。階級を抗争を廃絶、平和で自由、均しく豊かな世界を！

◎自転車から「落馬」、脳天にドリルで穴開けても、死に損なう！

老人ホームで暮らす妻が泉屋のクッキーを食べたいという。三越なら売っているだろう、銀座まで晴海通りを一直線だ。8月5日（土）11時前、カンカン照りの晴海の太鼓橋の歩道を自転車で渡り、坂を登り切ったところで気を失い、顔面から転び大量出血。気がつければ救急車やお巡りさんが呼ばれ、お茶の水の順天堂病院に救急搬送。傷の酷い額と上唇、左手を縫う。頭のCTも撮り異常はないが、後で循環器科でCTを撮るようにとのこと。大きな絆創膏を貼った異形の外観以外特に異和感もなく、普段通りの生活。20日（日）には隔週毎のゴルフ。カートに乗らず一人歩いて炎天下のゴルフを楽しむ。

その後脳の左側に張りを覚え、20年前治療する見込みなしの大腸がん3bを手術、奇跡的に完治、今も成人病センターに通い降圧剤と血糖降下剤を処方して貰う、都教職員共済三楽病院のCTを予約。9月4日CTを撮ると飯田橋のジェーコー（地域医療機能推進機構）東京新宿メディカルセンターで手術しなさい、救急車を待つと時間がかかると、タクシーを拾う。入院して直ぐ手術室へ。部分麻酔で脳の左側に径16mmの穴をドリルで開け、頭蓋骨とその下の硬膜の間に出血した硬膜下血腫を吸い取る。昏睡し何もわからず。

脳内出血でも動脈瘤が破裂、硬膜の下の蜘蛛膜と脳の間には血腫が出来る蜘蛛膜下出血の場合は急を要す。運良く命を長らえても、後遺症が残る。90歳過ぎてなお元気な長姉の夫が50代で蜘蛛膜下血腫で亡くなる。あれから40年余、義弟の●は「ほとんど治療する見込みなし」（岩波新書「胃がんと大腸がん」）の大腸がんステージ3bを手術して20年、頭蓋骨に大穴開けるが、又も死に損なう。硬膜下血腫で死ぬ人もいるが、11日に退院、この世に生を受けて76年、この間の社会と医療の進歩には目を見張る。

右手足に不自由を感じ、元々下手な字がミミズが這うようになったが直り、日常生活が復活。退院祝いに？10月1日に2組、●は寮同期の山川胃腸科院長と2年下、ML派の仲間だった上田君、現役医師二人と小川カントリーでゴルフを楽しむ。開けた穴には切り取った骨で蓋したんだと●が言うと、ドリルで開けたんだから蓋には出来ないよ！空いたままだよ！と冗談半分に二人。プラスチックで埋めてるよ！という者もいるがどうか？10月11日退院後二度目の診察で「ゴルフしていいって言ったっけ！」と執刀医。三楽病院の降圧剤より弱い降圧剤をくれるが、血種は取り切れていない。再発の恐れありとゴルフ禁止に。アルコール、ドライブも禁止。シーズン近いが、何より好きなスキーも駄目か？

◎森を診て木を診ず！

硬膜下血腫で死ぬ人もいるが助かる。だが降圧剤を飲みながら、なぜ気を失い転倒事故を起こしたのか？下げ過ぎて脳に酸素が行き渡らず失神、転んだのではないか？三楽病院の担当医は暑さで軽い脳梗塞を起こし、自然に回復したのでは？というがどうか？日本の標準医療では血圧と血糖値を一律・大幅に引き下げ、高血圧患者と糖尿病患者を増やし製薬会社は潤うが、日本の医学と医療の糖質管理、血圧管理に大いなる疑問。森を診て木を診ざるが如し。

脳と心臓の血管の梗塞、破裂、糖尿病の予防には役立つ、食生活の改善と併せ日本人全体の平均寿命を延ばしても、活動量の多い成人の血圧と血糖値の下げ過ぎで脳の酸素不足、血糖不足に陥り別の病気や事故につながっていないか？低血圧でふらついたり転んで怪我したり、血糖不足で動けなくなったり。時々ゴルフ場の浴室で動けなくなり、飴を食べさせようやく動けるようになる者を見かける。好きなゴルフをする、サイクリングやスキーを、人生を楽しむため血圧、血糖を管理するのではないか？血圧を、血糖を下げたために好きなことが出来ない。取敢えず降圧剤は軽いものに替えてくれる

いつまでも病人でいられない。9月16日（土）遅ればせながらヘルメットをゲット、自転車を再開。降圧剤を変えたので17日（日）は近くに車を動かす。降圧剤効き過ぎで、脳が酸欠に陥り、気を失って自転車で転んでしまうとは思っても及ばず。アルコール厳禁と言われるが、ノンアルコールはまずい。ジンジャーエールの晩酌が続く。経過は順調だが血腫は残っており頭を強く振る？スポーツ、車の運転、飲酒は禁止！と言うが降圧剤は調節したので運転は楽しむ。昨シーズン17回楽しんだスキーはどうか？晩酌はジンジャーエールで我慢するとして、何を楽しみに生きて行けばいいのか？

◎認知機能（記憶・判断）向上に役立つ！？・・サプリメント花盛り！

朝日新聞8面、世田谷自然食品の記憶対策サプリメント「イチョウ葉」の全面広告。「イチョウ葉フラノイド配糖体とイチョウ葉テルペンラクトンはイチョウの葉から抽出される有用成分で、『加齢によって低下する脳の血流が改善され、認知機能の一部である記憶の精度や判断の正確さを向上させる』』という。

だが加齢による脳の血流の低下を補うために、年取ると血圧が上がる。かつては年齢+90までが適正血圧とされ許容されていた。加齢による高血圧は血管に負荷をかけ、脳梗塞や脳出血につながるとして、今は年齢に関わらず一律に160、更に130以上は高血圧とされ、高血圧患者を増やし、降圧剤を飲めという。酸素とエネルギーとなる血糖は血管を通し血液によって全身に運ばれる。降圧剤を飲んで血圧を下げると、脳が必要とする酸素と血糖の脳への供給が制限され、酸欠でフラフラしたり、転んだり、気を失ったりする。欠糖になるとエネルギー不足で動けなくなる。本サプリメントの広告は脳の血流の低下が認知機能の低下をもたらすと、認知症の危険を煽る。

日本では4千万人以上の人間が130以上の血圧があるということで、脳梗塞と脳出血から救うために降圧剤を飲まされ、製薬メーカーは莫大な利益。血流不足は認知機能を低下させると、逆にサプリメント業者はビジネス機会と、血流促進のサプリメントをつくる。元々低血圧でフラフラしたり、転び易い人は別にして、血流を増やすサプリメントを飲むべきではない。降圧剤で血圧を下げている人はサプリの前に降圧剤を弱い物に変えるか？

飲むのを止めるべきだろう。サプリで血流を増やす、血圧を上げるのは脳梗塞や脳出血のリスクを増やす。

ステージ 3b（余命半年）の大腸がんの手術をした 20 年前も、サプリメントは花盛りだった。その頃は不治の病のがんに効くという、アガリクスなどのサプリが多かった。🍄は一切耳を貸さなかったが、がん医療は進化、最近ではすい臓がんも早期発見すれば完治するほどになる。不治の病でなくなりつつあることで、がんのサプリは姿を消した。最近では関節痛や不眠、歩行、排泄、美容など老化に関わるものが多い。高齢者が狙われるのは、それだけ懐が豊かだからか？

◎老後レスで働くか？刑務所か？

埼玉の蕨で自宅を放火、病院と郵便局を襲撃、発砲、人質を取った老人は、食い詰めたヤクザ崩れの刑務所生活狙いの犯行だったよう。ピストル所持、発砲は堅気では難しい。元ヤクザで、正業についてくともなければ年金もなく生活に行き詰まり、刑務所なら寝床と食べ物には困らないという、破れかぶれの犯行か。窃盗などの軽罪を犯すくらいでは実刑を食らって刑務所に入り、タダ飯を食うのは難しい。NHK 土曜ドラマ、「一ツ橋桐子の犯罪日記」の松坂慶子はスーパーで万引きしたり、結婚詐欺やら色々頑張るが、刑務所には入れない。放火も拳銃所持、発砲、傷害、監禁も重罪だから、86 歳では刑務所で目出度く人生を終えることになるのか？長生きして刑期の三分の一くらいで仮釈放されてシャバに出ても、身よりもなく困る。今刑務所には医療や介護が必要な、寄る辺のない年寄りが溢れ法務省は困っているという。倍賞千恵子の映画「プラン 75」の様に、給付金付安楽死制度が実現しないと限らない。

🍄も 69 年 11 月 15、16 日と、2 日間に渡った 70 年安保条約改定反対！佐藤首相訪米阻止！羽田闘争で逮捕起訴され、69 年末から 71 年の正月まで、中野刑務所の 3 畳一間の独房に、足掛け 3 年未決で拘禁された。駒場 4 年目、実に 7 回目の逮捕でようやく起訴され、拘禁。自由を奪われ苦痛ではあったが直き慣れた。拘禁性ノイローゼを病む者もいたが、外の運動との連帯感もあり、革命青年🍄は意気軒昂。簡素ではあったが、3 食与えられ、1 日 30 分ほど金網で扇型に仕切られ、要の位置で看守が監視する檻籠の中で、体を動かす。週に二回スチームバスに一斉入浴、週に一回布団のシーツを換える。独房から出る時に履くゴム草履からしつこい水虫がうつり、最近まで悩まされたのは誤算だったが、1 枚のパンツを裏返して 2 週間履くような生活からすると、実に清潔で健康的な生活。既決ではないので労働は課されず、持て余すほどある時間は読書に使った。お陰様でどうか食べられているので、自分から進んで刑務所に入ろうとは思わないが、年老いて生活に困り務所暮らしを選ぼうとする者もいる。

サラリーマン生活が 40 代の 10 年と短く、年金が月額 7 万円ほどと少ない🍄は老後レスで働き続ける。一般のサラリーマンは 60 歳で定年、65 歳まで再雇用で働き続けるのが普通だが、給料は大幅ダウン。折からの人手不足で、70 歳まで再雇用という会社もあるがまだ少ない。先般 70 歳以下と年齢を偽り介護施設の運転手として働き、施設内で運転を誤り入所者 2 人を死なせた年寄りがいた。意に反して刑務所行きか？国民年金だけで生活していくのは厳しい。厚生年金は食べるだけならどうにかかなりそうだが、ゆとりある生活には遠い。最後は刑務所に行けばいいなどと、寂しいことを考えなくてもすむように、

年金の最低支給額もあげ、働きたい年寄りには楽しく働ける社会になって欲しい。欧米では「労働は神に罰として与えられた苦役だ」と考える傾向も強いが、日本人は「労働は自己実現」、「働いて他人の役に立ちたい」と考える傾向が強い。働くことで社会との交流、適度な緊張があれば、長く健康で楽しく生きられる。日本人の平均寿命も 80 歳を越し、元気な老人が多い。介護を必要とするのは高齢者の四人に一人で、三人は介護の世話にならない。人手不足というなら、介護も含め元気な老人にふさわしい就労の機会が欲しい。

◎共働き、片働き・・介護の 25 年問題と介護離職

敗戦 1 年後の 1946 年 12 月 26 日に産声を上げ、間もなく 77 歳、喜寿だという。妻は 49 年 3 月生まれ。2 歳若く、女性の方が平均寿命が長いので、一般的には夫の方が先に介護が必要になったり、老人ホームに入る。我が家では年上の夫の方がピンピン、妻が先に介護認定され、介護保険制度をフルに使いながら 3、4 年間自宅で老々介護。その間も夫は居宅と別に事務所を持ち、アシスタントの助けを得ながらフルタイムで営業顧問業。サラリーマンと違って自分の裁量で仕事をするとは言え、酒席の付き合いや泊まりがけの出張もある。要介護 2 や 3 で介護サービスをフルに利用しても、一人だけの時間も長く不安という妻の希望でサニーライフ芝浦に入所。

入居一時金無しで家賃や食費などの基本料金が月 18 万円のところ、割引価格で！？12 万円、介護保険の自己負担分 2 割、お医者さん、歯医者さんの出張診療の自己負担分、出張美容、おやつやら足して 20 万円ほど。40 年間渋谷区立小学校の栄養士として働いた年金 18 万円ほどで足が出る分は、退職金の一部で一括払込み、要介護 2 以上で終身支給の介護年金保険、年額 80 万円でカバー。楽勝のようだが骨折して手術、入院したりするとハラハラする。高額医療費は還付されるが、月額 15 万円までは自己負担、差額ベッド代は対象外。聖ルカ病院のように全部個室で、1 日 3 万円からの病院に入った分には、ソニー生命の年金保険 80 万円はあつという間になくなってしまう。

夫婦共働きだから、妻の年金分を妻一人で使えるが、教育費はかからず、住宅ローンもないとは言え、片働きだと大変だ。一人分の年金（と他方の僅かな国民年金・基礎年金）で二人分の生活費を賄わなければいけない。片働きの老人家庭では年金の他に収入やストックがないと、一人で全部使う訳にはいかない。サニーライフのような比較的リーズナブルな費用の有料老人ホームでも入所は難しい。まして入居一時金 4、5 千万円、毎月の費用 3、40 万円という高級老人ホームは両働きでも逆立ちしても難しい。鴨川は江見のリゾートマンションに泊まり海辺をサイクリングすると、鴨川の外れの小高い丘の上に三井不動産の高層のオーシャンビュー、高級有料老人ホームが聳える。誰が入るのかと思う。

民間の有料老人ホームが難しければ、特別養護老人ホームと考えるが、最近の特養も個室が多く、それなりの費用が必要。サニーライフはヘルパーさんに外国人が多く、意志疎通がスムーズにいかない、食事がまずい、人手不足で週二回の入浴がパスされることもあると、妻は文句を言う。特養からそろそろ順番が近いですよ、と声がかかったついでに聞くと、特養は福祉マターなので、年収や資産の多寡で費用が決まり、我が家の場合はサニーライフと余り違いがない。施設に入るのは費用がかかるとか、可哀想だということで、老々介護や子供が仕事を止めての在宅介護になると早晚体力、経済力の限界がきて、生活が立ちゆかなくなる。その前に現在の経済力で入所できる施設を探し、残された者の生活、

仕事と両立させる必要がある。都心の広い家に夫婦で住んでいるなら狭い家に移り家賃を減らす、買い替えて売買差益を老後資金とする。高齢者でも介護が必要なのは四人に一人。団塊世代が全員後期高齢者となり、介護の 25 年問題と言われる。介護人材不足が叫ばれるのだから、元気な高齢者でその不足を埋められないか？親の年金だけが頼りとなり親が永遠に死ねないとか、親子心中するということがあってはならない。

◎すき家の卵かけ納豆定食、390 円から 360 円に値下げ！・・独居老人の孤独な食卓

独り住まいで食事はどうしてるんですか？と聞かれる時がある。最近朝は丸大の薄切りベーコンを三角にフライパンに敷いて卵を落とす。三角の窪みに黄身は収まるが、時々ブリゴジンの様に反乱しプーチンを困らせる。以前はベーコンを 4 枚田形に組んでいたが、節約のためというよりは脂質削減のため 3 枚にした。パスコのレーズンバターロール一個をトースターで焼き、時に真っ黒こげ。小さな皿鉢にヨーグルトを入れ、ジャムを落とす。一番安い 400 グラム 98 円のイオンブランドのヨーグルトを常食にするが、118 円に値上がりした上手に入らない。やむを得ず 450 グラム 128 円の協同乳業の「おいしいヨーグルト」を食べるが、酸味が強い。土日早朝マルエツに行ってもイオンのヨーグルトは中々手に入らない。平日の仕事帰りでは勿論手に入らない。土日の 10 時からお昼くらいなら大丈夫。腐る物ではないと言っても土日でも 6 個も買ったり、両方混ぜて酸味を中和して食べることも。キーウイの皮を剥いて八つ裂きにしたたり、バナナなどの果物も欠かさない。フィリピンバナナが多いが安い。南の国の種無しブドウを皮ごと食べることもあるが、チリ産は安くカリフォルニアやオーストラリア産は高い。芯を繰り抜いたパイナップルも輪切りにして食べるが、人手不足か余り目にしない。バナナの際は炭水化物が多いとロールパンを止め、多少は健康も意識。田舎の特定郵便局長の親父の、たまの出張帰りのお土産でしか口に入らなかったバナナなどの輸入果物を口に入れては、経済のグローバル化を感じ、価格の上下で輸入先の通貨の価値と経済力、日本経済の弱体化を知る。🐟兄弟が乳搾りをし、村中配達して余った牛乳の持込み先の工場も協同乳業だった。

寄る年波か朝も早く、6 時台には朝食を終えることが多い。孤食の時は昼も早い。勝どきや御徒町のすき家で 11 時までの朝定食を昼食として食べることも多い。牛井のすき家やま寿司、ファミレスのココスなどのゼンショーグループの創業社長、小川賢太郎君（S43 年文科 I 類入学）はかつての東大全共闘の仲間。グループ売上高 9 千億円を誇る外食王、れっきとした資本家だが、「世界から飢餓と貧困を撲滅する」を企業理念とするところに、かつての学生運動活動家のしっぽ。中国黄土高原緑化 NPO 法人「緑の地球ネットワーク」（三鷹寮同期の高見邦雄君が創始）に協力して頂き、高見君と一緒にゼンショー G 本社でお会いして頂いたが、まさかかつての仲間の老後レス老人が、自社の朝定食を昼飯にしているとは思うまい。

卵掛けご飯にマカロニサラダやひじきとレンコン、人参、シラタキなどの金平のミニミニ小鉢、みそ汁と焼き海苔 3 枚、おまけに刻みネギ付きの納豆。バランスの取れた栄養食。ついでに健康に良かれと紅ショウガもタップリ。これで 360 円だったが、鳥インフルの万延と輸入飼料の値上がりで卵が値上がりした春先に 390 円へ値上げ。已む無しだが勝どきや本郷で食べる松屋のみそ汁つき 400 円牛井、吉野家の牛井並盛 408 円（全て税別、他社は全て税込み）、みそ汁 68 円、御徒町やお茶の水で食べる日高屋の 390 円ラーメンに

比べても遜色ない。吉野家と3社で280円の牛丼戦争を繰り広げていた時代から結構値上がりしている。ところが秋口になって卵は値下がりしていないのに、すき家の朝定食は以前の360円に値下げ。老後レスには嬉しい値下げ、大英断と思うが、ライバルの店で食べてみると吉野家ハムエッグ納豆定食が398円、松のや選べる小鉢付き卵掛け定食250円はライス小、納豆の小鉢も選べて小振りの焼き海苔4枚つき。松屋ダブルで選べる卵掛けご飯290円は小鉢のほか半熟か生卵を選べて、朝定食にはいずれもみそ汁がつく。老後レスの●には嬉しいが、牛丼3社の熾烈な価格競争の結果の値下げだと合点。それにしても昔から松屋の牛丼はみそ汁込みの値段表示で、他2社はみそ汁は別。みそ汁を含めたら松屋の牛丼が一貫して最安値だが、なぜ松屋はそれを宣伝しないのか？

◎共益商會を宜しく！

一年浪人して66年に東大に入学した●、経済の高度成長で復活した日本資本主義の再度のアジア侵略と自民党による戦後民主主義の空洞化を阻止しよう！と学生運動の隊列に身を投じ、さらに階級を廃絶することで、搾取と疎外、階級対立のない、平和で自由、豊かな世界をつくらう！と「革命運動」の末端に連なる。69年の安田磐攻防戦を頂点に日本革命運動は敗北。方向転換する器用さも持ち合わせず、40歳まで定職に就かず、受験業界でアルバイトを続ける。

40近くなり、同級会や同期会で駒場の仲間と会うと、社会性がなく「世間知らず」の我が身を恥じ、40歳でサラリーマンを始める。50歳で友人に誘われ環境ビジネスを起業するが資金繰りで失敗。50過ぎてサラリーマンは難しい。前職の高橋カーテンウォールで東大、しかも法学部に長くいて寮運動や学生運動で顔も広い、霞が関やJR、NTT、UR等公的セクターに知合いが沢山いると営業に回される。営業ですか！と思うが、社長の命令に従わなければ辞めるしかない。バブルが弾けPCカーテンウォールを使う立派なビルは民間では建たない。口にチャックをして社会に出たかつての仲間が、40歳過ぎて組織の重要なポジションにいて助けてくれる。JR各社の駅ビルや本社、霞が関や出先のビル、県庁、大学や大学病院、各地のNTTやドコモ、URのビルを受注。●自身も広範な人脈が仕事に役立つことに気付くと同時に、会社もバブルの崩壊で市場が縮小する中独り勝ち。高橋カーテンウォールの営業顧問にして貰う。ライバルが倒産や精算で次々姿を消し、今では残存者利得を食む。サラリーマンは10年しか続かなかったが、本郷に事務所を構え、アシスタントに手伝って貰い、営業顧問業は4半世紀余続く。

ネットワークがあつて、売るものがあれば営業顧問業は成立しそうだが、営業マインドと営業スキルも必要だ。幸い●は人間が好きで、学生時代はオルグに熱中、ML派の機関紙も毎号200部ほど売っていた。日本ビクターにいた寮の先輩が、顧問先が一社だけでは大変だろうとビクターの顧問にしてくれ、ビクター製品を扱う電設資材の商社の因幡電気の顧問にもなりと顧問先が広がる。黄土高原緑化活動の緑の地球ネットワークの資金集めで高見君と霞が関を回ると、郵貯のボランティア預金、林野庁の緑の羽、外務省の草の根協力資金、環境省の環境基金などと寮やクラスの仲間にも助けて貰い、更にネットワークが広がる。ネットワークが広がれば顧問先も広がり、好循環。遂には日本資本主義の総本山経団連どころか、中国緑化協力の小淵基金のメンバーとして首相官邸にも呼ばれる。折から官邸建替えプロジェクトも進行中でこちらもお手伝いさせて頂く。

建築関係のメーカーを中心に顧問先を広げてきたが、社長の佐藤さん（68 年理 I 入学）と学内アルバイト団体の東大学力増進会の仲間ということで、乗換え案内のジョルダンの顧問にも。最近ではごみ処理の共益商会グループの顧問にも。大原学園と肩を並べる専門学校の雄、三幸学園は営業先だが、施設担当部長が共益商会の営業担当で転職、営業顧問になってくれという。新築ビルのメーカー営業を一通り終えた後で、あらためて施主に新築後のごみ処理の提案をさせて頂く。営業職で転職する際、顧問の●とセットで転職すれば、より大きな戦力として評価されないか？取敢えずごみ処理システムの共益商会を宜しくお願いします。

◎トカイナカ・半自給自足生活、風は気紛れ！



所沢に住み、地主が耕作出来ない市街化農地をタダで借り、野菜を自給するエコノミストの森永卓郎が、30 坪もあれば食べきれないほどの野菜が穫れると、プレゼンで「トカイナカ・半自給自足生活」を説く。●の都会と田舎の複数拠点生活は、週末田舎で体を動かして「遊び」リフレッシュ。働かなくなったら自然豊かな田舎に住み、都心の住まいを賃貸すれば家賃が私的年金として入り、老後の生活を豊かに出来るというものだが、スキーやサイクリングだけでなく、野菜作りもいい。寮同期の飯田徳松君は足立の本居の他に上総一宮に戸建てを持ち、農業に勤む。●がサイクリングを楽しむ房総、スキーを楽しむ越後湯沢にも耕作放棄地が数多ある。森永卓郎が所沢で生産緑地 60 坪を無償で借り、「トカイナカ・半自給自足生活」を楽しむような、複数拠点生活もいい。

意外かも知れないが、越後湯沢で通年暮らすには冬ではなく夏が問題。湯沢は標高があるので朝晩の寒暖の差は大きい。盆地で雪国のイメージと違って夏の日中は気温が上がる。冬雪が積もるのでマンションにベランダがなく、エアコンの室外機がおけない。室外機のない窓付のエアコンでは効きが悪い。外廊下に出来ないので中廊下、廊下の両側に部屋があるつくり。窓を開けても風の通りが悪く、上階でも涼しくならない。

岩原スキー場のど真ん中のマンションが西向きで夏暑く、湯沢の駅から遠くて買物や飲食も不便、通年で住むには使い勝手が悪い。娘達と袂を分かち湯沢駅前のマンションに引っ越す。東京から新幹線で一時間少しの駅から徒歩 2 分、湯沢高原スキー場まで徒歩 10 分、コンビニ、マツキヨ、百均、スーパー、郵便局、役場、病院、図書館も近く、買い物・飲食にも困らない。夏の暑さをどうしのぐかだけが問題。谷川連峯や越後の山々が見えて景色のいい南向きではなく、湯沢の駅や街が見えるだけで景色には恵まれないが、窓を開けると風が入る、北向きの 9 階の部屋を選ぶ。

これで通年湯沢で暮らせる。東京に住む必要がない「老後」は湯沢で生活、東京で住むマンションは賃貸すれば「年金」が増える。自然豊かな湯沢で冬はスキー、残り半年は新緑や紅葉を愛でながら山道をサイクリングやトレッキング。小年の頃に帰り木陰で書を広げ、小川の岸辺の切り株や岩に腰かけ、せせらぎに足浸し活字を追うのもいい。妄想は広がる。梅雨明け、いよいよ夏、勇んで湯沢に。北向きの窓を開ける。好い加減で風が吹き込む。廊下のドアを開けっ放しにすると凄い勢いで窓から風が吹き込む。これで老後生活は安泰だ！ところが程無くして風は止む。じりじり室温が上がり 32 度。風は気紛れ！

◎ホームカミングデー・山上会館懇親会（2023. 10. 21）

三鷹クラブは終身会費1万円（年会費なし！）で、千名ほどの会員に入会して頂き名簿を発行、30年ほど学士会館で5回、大阪で1回、毎年6回、赤字だが夕食付きリアル講演会も楽しく開催。自治寮廃止で少なくなった寮生の交流も支援、一緒に楽しむ。残余の資金も120万円余（コロナ中は別建て、よく頑張る！）となり、コロナ前と同じ体制を継続するのは難しいか？今後どうするか？年に一回10月第三土曜日の全学ホームカミングデーに合わせ、三鷹クラブのリアル「総会」を開催、懇親を深める。コロナの間に定着したオンライン懇親会を、事務所などに集まれるメンバーには集まって貰ってハイブリッドで開催。資金集めを兼ねた「三鷹は味方」Tシャツ作戦、「味は文化です！」などの交流会など、老若で楽しめればと思う。今年は時間の関係もあり、地域同窓会の東京銀杏会の打林事務局長（65年入寮）のお力を借り、東大出身の唯一の落語家（03年入寮、経済学部卒）春風亭昇吉師匠に一席話して頂き、取るものも取り敢えず、コロナ後初のリアル会合を設定。東京銀杏会の皆さんも含め、賑やかに交流。三鷹クラブの参加者は大内颯人（2023・文Ⅰ・甲陽学院）、尾崎一義（2023・文Ⅱ・枚方）、岸本空（2023・理Ⅰ）、杉山生成（2023・理Ⅲ）、田中悠飛（2023・理Ⅰ・洛北）、田仲佑将（2023・文Ⅱ・大分上野丘）、藤篠玉葉（2023・文Ⅱ・鹿児島純心女子）、本田純平（2023・理Ⅱ）、藤田悦光（2022（院）・公共政策大学院公共管理コース・都立国際・法政大学人間環境学部）、王星也（2022・電子情報工学科）、桑原秀彰（2020・文Ⅰ 法学部・札幌南）、村松泰知（2020・文Ⅲ 文学部哲学科・甲府南）、旭博佑（2019・理Ⅰ 工学部精密工学科・久留米大学附設）、田名部琉（2019・文Ⅱ 経済学部経済学科・嵯峨野）、白寧杰（2018・理Ⅰ 理学部情報科学科・東北育才外国語学校）、ラーリック寿里晏（2017・理Ⅱ 農学部獣医学専修・水城）、小林義信（2016・理Ⅱ・水戸第一）、竹内碧（2016・理Ⅱ 薬学系研究科博士課程・高知学芸）、北條新之介（2015（院）・総合文化研究科 地域文化研究専攻 アジア科中国・真岡・東北大学）、横字史年（2015・文Ⅲ・岡崎）、唐津裕貴（2008・理Ⅰ 理学部数学科 数理科学研究科・淳心学院）、國枝明弘（春風亭昇吉）（2003・文Ⅱ 経済学部経営学科・城東）、佐藤昇（1988・文Ⅱ 経済学部）、石原順就（1986・理Ⅱ 教育学部・久留米大学附設）、中村英（1967・文Ⅲ 教養学科ロシアの社会と文化・広島大学附属）、飯田徳松（1966・文Ⅲ 農学部農業経済学科・上野）、（1966・文Ⅰ 法学部・能代）、打林國雄（1965・理Ⅰ 工学部都市工学科・富山中部）、佐久間秀武（1965・理Ⅰ 航空学修士・灘）、辰紘（1965・文Ⅰ 教養学部教養学科国際関係論・三国丘）、安藤誠四郎（1962・理Ⅰ 工学部機械・修猷館）、土谷尚（1959・理Ⅰ 工学部土木工学科・広島大学附属）、弘中義夫（1959・理Ⅱ 農学部林産学科・小倉）、水島太藏（1959・文Ⅰ 経済学部経済学科・高田）、渡水隆史（1959・文Ⅰ 法学部第2コース（公法）・磐田南）、大野昶（1953・理Ⅰ 工学部応用化学科・南山学園）。

◎パンツをはいた猿と神（結びにかえて）

統一教会の解散請求、創価学会母体の公明党の集票力低下・退潮。科学が進み豊かになれば神頼みは減る。アラブとイスラエルの対立にも宗教の側面。パンツをはいた猿の森羅万象の解明が進み、生活に応用、仕事の効率を高め豊かな社会が実現しても、自然法則の全てが解る訳ではない。解らないことは神の思し召しで片づければ楽。万能の神も人間が創り出した。神は地上と人の心から消えないが、人間の知恵で争いはなくせる。再見！